



働き方改革の手引き

自分たちで進める働き方改革



人口減少は、本県が直面している最大の課題です。その課題解決のためには、本県の将来を担う人材を育て、共に支えあう社会をつくるとともに、新たな基幹産業や活力のある産業を育て、県内に活力を生み出していくことが大切です。

特に若年層を県内にとどめ、地域の活性化を図るためには、良質な雇用の場の提供に加え、安心して結婚し、出産・子育てができる環境を整えていく必要があります。

そして、その実現にあたっては、ワーク・ライフ・バランスなどの職場環境の改善に向けた企業の主体的な取組が不可欠となります。

このため、県では、令和3年度にモデル企業5社の働き方改革の取組に対し、伴走型支援を行ったところです。

本書は、働き方改革の必要性や取組の効果を広く多くの企業に紹介するため、取組の進め方と解決策をとりまとめ、モデル企業の取組を具体的な事例として掲載しています。

作成にあたり、ご多忙中に関わらず、快く取材にご協力いただきました企業の皆様に厚くお礼を申し上げます。

企業等の皆様におかれましては、ぜひ、本手引きをご活用いただき、それぞれの実情に応じた「働き方改革」の第一歩を踏み出していただくことを期待しております。

令和4年12月

長崎県産業労働部雇用労働政策課

長崎県誰もが働きやすい 職場づくり実践企業認証制度

略称：^{エヌ}Nぴか



Nぴかロゴマーク

Nぴかとは…??

「Nぴか」は県内中小企業の職場環境の改善を推進するため年齢・性別に関わりなく、誰もが働きやすい職場づくりに積極的に取組む優良企業を県が認証する制度です。

認証企業が社会的に評価される仕組みを作ることによって企業自らが魅力的な職場環境の整備に取り組むことを目的としています。

認証された企業は、優良企業として様々な場面で「Nぴか企業」として周知されるほか、県の合同企業説明会に優先的に参加できるなどのメリットがあります。

認証されると…

1. 「Nぴか」特設ページやながさき県内就職応援サイト「Nなび」に認証企業として掲載
2. 求人票に「Nぴか認証企業」と記載し、求職者へ働きやすい職場であることをPR
3. 県の建設工事の入札参加者格付審査項目で加点
4. 県主催の合同企業面談会や説明会等への参加が有利に
5. 合同企業面談会での表示や専用ロゴマークの使用が可能に

【Nぴかに関する問合せ先】

長崎県産業労働部雇用労働政策課（担当：労政福祉班）
長崎市尾上町3番1号 電話：095-895-2714

『Nぴか』の詳細についてはこちらをチェック👉



「働き方改革」とは何か	3
働き方改革の基本的な構造	3
この取り組みによって期待できる効果	4

序章 カエル会議*を開催できる環境を用意する

1 カエル会議に必要な備品を用意する	6
2 カエル会議のグランドルール	6
3 役割カード	8
4 カエル会議を開催するまで	8
5 なぜ私たちは働き方改革に取り組むのか【ワーク】	9
6 働き方改革の全体像	12
7 問題点と課題を明らかにし、ありたい姿に近づく	13
8 ありたい姿への道のりとカエル会議の手順	13

第1章 チームの「ありたい姿」を設定する

1 私たちの使命は何か【ペアワーク】	16
2 私たちの使命は何か【全体ワーク】	16
3 枠組みに記入しながら“ありたい姿”を探す	17
4 ありたい姿の良い例／悪い例	18
5 ありたい姿のさまざまな例	19

第2章 課題を特定し解決策を考える

1 現状を明らかにする【ワーク】	22
2 理想的な状態とのギャップ(問題)を特定する【ワーク】	22
3 課題を特定し、解決策を考えるための思考法	23
4 優先的に取り扱うべき「課題」を定める【ワーク】	25
5 要因を特定し有効な解決策を考える【ワーク】	26

第3章 解決策を実行しスパイラルアップ

1 解決策を実行しよう【ワーク】	28
2 実行した解決策を振り返る【ワーク】	29
3 アクションシートを活用する	30
4 解決策をブラッシュアップする【ワーク】	31

第4章 取り組みの“難しさ”を乗り越える

1 カエル会議のつまづきと解決のポイント	34
2 【壁】カエル会議の効果を実感できない	34
3 「すぐにできる」という理由で実行する解決策を決めていないか?	35
4 効果的な会議進行を行う	35
5 議論で問題解決をするためのシート	36
6 【記入例】議論で問題解決をするためのシート	36

第5章 よくある課題とすぐに効果の出やすい解決策

1 【効果的な施策】書類やデータを整理する	38
2 【効果的な施策】マニュアルを整備して休暇を取得	38
3 【効果的な施策】思い切って定時退社日を決める	38
4 【効果的な施策】仕事に追われる状況から抜け出す	39
5 【効果的な施策】仕事に追われる状況から抜け出す	39
企業事例① 株式会社丸野	40
企業事例② 株式会社 KPG HOTEL&RESORT i+Land nagasaki	42
企業事例③ 株式会社イシマル	44
企業事例④ 株式会社新長崎製作所	46
企業事例⑤ 株式会社長崎西部建設	48

※「カエル会議」は(株)ワーク・ライフバランスの登録商標です。チームで目指す目標(ありたい姿)を設定し、その目標達成にむけた課題を抽出して、改善案を考える会議です。

「働き方改革」とは何か

働き方改革

限られた時間の中でもっとよい仕事をするには
どうしたらいいかをそれぞれの立場で考え
具体的に行動する営み

組織全体で「働き方」について知恵を出し合っていく

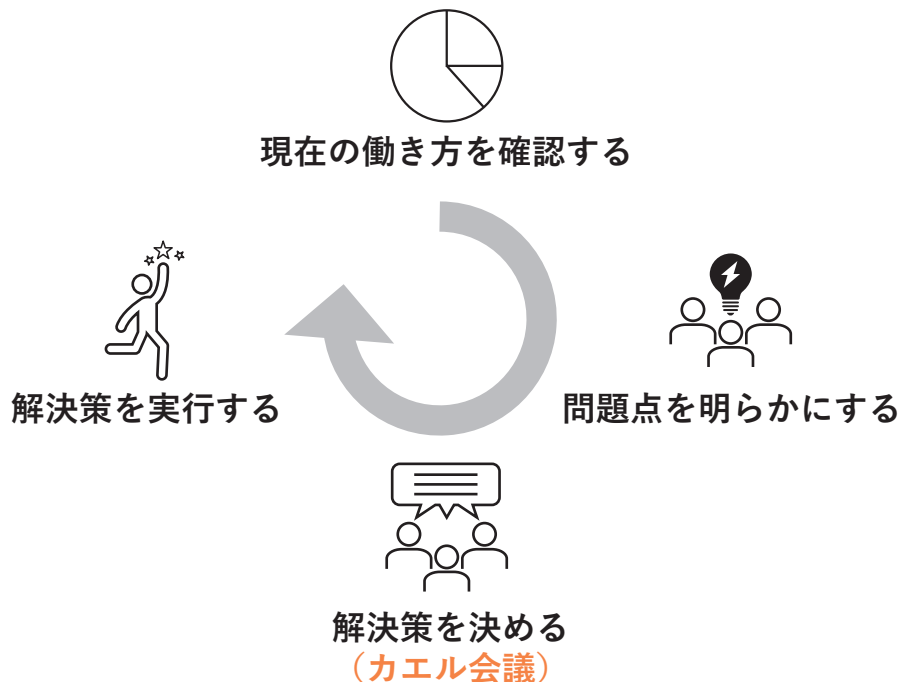
「時間に制約がある」中で「仕事の質を維持・向上させる」ための取り組み

皆で知恵を出し合うための「カエル会議[※]」が鍵を握る

※ここで「会議」とは上長や役職者が部下に指示を出す場を意味していません。誰もが答えを持っていない状態で皆さんで知恵を出し合う、打ち合わせ・アイデア出しの場のことを言います。

働き方改革の基本的な構造

カエル会議でありたい姿（理想）と現在の姿（現実）のギャップを洗い出し
ありたい姿を手に入れるためにすべきこと（解決策）を決めて、実行する。



※「ありたい姿」が定まっていることを前提とした図解。
※カエル会議は週1回・30-60分が理想的。

この取り組みによって期待できる効果

カエル会議に取り組むことで、さまざまな効果を期待することができます。主なものを挙げれば「時間の意識の向上」「時間の質の向上」「労働時間の削減」「チームワークの向上」「意欲向上」「自己研鑽の増加」「睡眠と健康」「人生をコントロールする」「家族の幸福」があります。つまり、ワークとライフの両面で大きなメリットが得られるということです。

